

修得テスト(ILL)問題(第3回)色付セル(一部、赤字)が正解です。

問題番号	問題	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	解答解説
1	次の文章に入る言葉の正しい組み合わせはどれか。 1.目録所在情報サービスは、総合目録データベースを形成するためのNACSIS-【(1)】と、相互貸借業務を支援するためのNACSIS-【(2)】とで構成される。 2.NACSIS-ILLは、ILL業務のうち、所在の調査、依頼・受付の【(3)】等を行うシステムである。依頼資料の電子的な【(4)】は行っていない。	(1)CAT (2)ILL (3)連絡 (4)送付	(1)CAT (2)REO (3)連絡 (4)送付	(1)REO (2)ILL (3)送付 (4)連絡		目録所在情報サービス及び各サービス(NACSIS-CAT,NACSIS-ILL)についての総合問題です。それぞれの意義と概要を正しく理解しましょう。
2	ILLシステムのメリットについて述べた次の文章のうち、【間違っているもの】はどれか。	NACSIS-CATを参照でき、最新の書誌・所蔵データを利用して、依頼先の選定や依頼レコード作成が簡単に行える。	依頼先を最大10館まで指定でき、ある依頼館に謝絶されても次の図書館に自動的に依頼が転送される。	依頼館・受付館相互の処理状況の確認が、ILLレコードを参照することで容易に把握できる。		ILLシステムには主に5つのメリットがあります。それぞれについて、正しく理解しましょう。
3	ILLの基本機能を説明した下記の図の(1)~(4)にあてはまる言葉はどれか。番号を入れなさい。 1. 総合目録データベース 2. 参照ファイル 3. 参加組織ファイル 4. ILLデータベース 正解:ア[[4] イ[[3] ウ[[1] エ[[2]	<p>(ア) 複写ファイル COPY (ILL複写レコード <LA××××××××××>)、貸借ファイル LOAN (ILL貸借レコード <LA××××××××××>)</p> <p>目録検索、書誌・所蔵事項の転記等に利用 (ウ) 図書書誌ファイル BOOK、雑誌書誌ファイル SERIAL、図書所蔵ファイル BHOLD、雑誌所蔵ファイル SHOLD</p> <p>利用条件参照、担当者事項の転記等に利用 (イ) 参加組織ファイル MEMBER</p> <p>(エ) 図書書誌参照ファイル JEMARC、図書書誌参照ファイル USMARC、図書書誌参照ファイル KERISS、雑誌書誌参照ファイル JEMARCS、雑誌書誌参照ファイル USMARCS、雑誌書誌参照ファイル ELMARCS、雑誌書誌参照ファイル KERISS</p>				NACSIS-ILLは参加館が共同分担入力で築き上げた総合目録データベース、NACSIS-CATのデータを利用して、簡単に相互協力ができるしくみです。 1つのILLレコードがどのように作成され、遷移し、活用されるか理解しましょう。
4	ILLシステムにおける目録検索について述べた次の文章のうち、【間違っているもの】はどれか。	他の図書館へ文献複写または現物貸借の依頼をする際には、まず所在調査が必要であるが、ILLシステムでは、総合目録データベースを検索することで、簡単に書誌事項及び所蔵館を確認することができる。	ILLシステムでの目録検索は、まず、求める資料についての書誌レコードを検索し、次にその資料を所蔵する図書館を検索する、という流れになっている。	検索では、その資料を所蔵する図書館の一覧が表示されるが、それぞれの図書館の利用条件の確認まではできない。		ILL依頼を円滑に行うためには、正しい所在確認、すなわち目録検索が重要です。ILLシステムにおける目録検索の意義・有用性・操作の流れ等を正しく理解しましょう。

問題番号	問題	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	解答解説
5	<p>次の文章に入る言葉の正しい組み合わせはどれか。</p> <p>1.タイトルから検索したい場合は、TITLEフィールドに検索キーを入力する。検索キーは、データベース内の【 (1) 】と照合される。</p> <p>2.所蔵検索では資料を所蔵している図書館を正しく検索し、かつ、ILLシステム参加状況(ILLFLG)や【 (2) 】(STAT)、複写サービス種別(COPYS)など、サービスの可否についても絞り込む必要がある。</p>	<p>(1)検索キー (2)貸借サービス種別</p>	<p>(1)漢字統合インデクス (2)FAXサービス種別</p>	<p>(1)検索用インデクス (2)サービス状態</p>		<p>総合目録データベース(NACSIS-CAT)は、独自の仕組みを採用しているため、検索する際に注意が必要です。総合目録データベースの特徴をよく理解し、正しい目録検索を心がけましょう。</p>
6	<p>次のチャートは、複写業務におけるILLレコードの状態の流れを示したものである。</p> <p>空欄に入る状態名の正しい組み合わせはどれか。</p> <p>(目録検索) ↓ FORM 「準備中」 ↓ ORDER 「未処理」 ↓ RECEIVE 「【 (1) 】」 ↓ SEND 「発送」 ↓ RECEIVE 「【 (2) 】」 ↓ OK 「【 (3) 】」</p>	<p>(1)到着処理中 (2)到着中 (3)確認</p>	<p>(1)処理中 (2)到着処理中 (3)確認</p>	<p>(1)確認 (2)到着処理中 (3)処理中</p>		<p>ILLシステムの特徴の一つに、ILLレコードの「状態」があります。この「状態」により、依頼館・受付館での処理状況を確認することができます。「ILLレコード状態遷移図」等をもとに、全体の流れをよく理解しておきましょう。</p>
7	<p>次の内容の依頼レコードを作成したい。該当フィールドの空欄に入る情報の正しい組み合わせはどれか。</p> <p>支払区分=公費(pb) 『看護と情報』Vol. 1, no.3 (1994) p.10-15 申込者=相互太郎(大学院生)</p> <p>ACCT=【 (1) 】 BIBNT=看護と情報 VLNO=【 (2) 】 PAGE=【 (3) 】 YEAR=【 (4) 】 CLNT=【 (5) 】 CLNTP=【 (6) 】</p>	<p>(1)pb (2)1(3) (3)10-15 (4)1994 (5)相互太郎 (6)大学院生</p>	<p>(1)pb (2)10-15 (3)1(3) (4)1994 (5)大学院生 (6)相互太郎</p>	<p>(1)pb (2)1994 (3)1(3) (4)10-15 (5)相互太郎 (6)大学院生</p>		<p>複写依頼レコード作成時の主な入力項目についての確認問題です。基本的な入力項目と対応フィールドの組み合わせを覚えておきましょう。依頼(ORDERコマンド)時の必須項目は特に重要ですので、よく理解しましょう。</p>
8	<p>依頼資料の発送にかかった費用を依頼館に通知したい。該当フィールドの空欄に入る情報の正しい組み合わせはどれか。</p> <p>【文献複写 単価=35円 枚数=10枚 送料=240円】</p> <p>ITEM=A4 UPRCE=【 (1) 】 QNT=【 (2) 】 CHARGE=【 (3) 】 POSTG=【 (4) 】 SUM=【 (5) 】</p>	<p>(1)該当値なし (2)35 (3)10 (4)240 (5)590</p>	<p>(1)35 (2)該当値なし (3)10 (4)590 (5)240</p>	<p>(1)35 (2)10 (3)該当値なし (4)240 (5)590</p>		<p>複写依頼レコードの発送通知時に入力する会計項目についての確認問題です。正しい情報を適切なフィールドに入力しなければ、SENDコマンド発行時にエラーになる場合があります。間違ったまま送信してしまうと会計トラブルのもとになる恐れもあります。十分注意しましょう。</p>

問題番号	問題	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	解答解説
9	依頼した資料が届いた時の操作で正しいものはどれか。	複写の場合も、受付館に受領を知らせるためコメント<CMMNT>フィールドに届いた旨記入する。	貸借の場合、届いたらBORROWコマンドを発行する。	複写の場合も貸借の場合も、まず、SAVEコマンドを発行する。		依頼した資料が届いた後の依頼館での操作についての確認問題です。複写業務では、資料の到着後の確認をもって業務が終了になりますが、貸借業務では、借用処理と返送処理とが発生します。2つの業務で共通する部分と異なる部分とを、各自で整理してみましょう。
10	下記のILL業務が行われている箇所を、ILLシステムの上でどの場面か答えなさい。回答は数字で入れてください。 正解: (ア)依頼内容を確認し、資料を用意[[3]] (イ)貸借業務で、資料返送後レコードを更新[[5]]					ILLシステムにおける目録検索から、複写・貸借業務の基本操作までの総合的な確認問題です。各レコードの状態に対して、どのようなILL業務が行われるかイメージがつかめたでしょうか。

問題番号	問題	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	解答解説
11	<p>総合目録データベースに該当する書誌レコードがヒットしなかった場合の作業の流れについて、空欄に入る適当な言葉を番号で選びなさい。</p> <p>目録検索: 総合目録データベースにも参照ファイルにも書誌がなかった ↓ OPAC検索等、その他の方法で参加館の所蔵を確認 ↓ 参加組織情報の検索: 依頼先の【1】を調べ、レンディングポリシーを確認 ↓ レコード作成: ILLレコードを作成し、【3】を入力 ↓ 依頼の送信</p> <p>(1)参加組織レコードID (2)書誌レコードID (3)依頼内容</p>					総合目録データベースに書誌レコードがなくても、ILLレコードを作成することができます。総合目録データベースにヒットした場合との違いについての確認問題です。
12	キャンセルする場合に行う操作で、【間違っているもの】はどれか。	送信後に依頼を取り消すために受付館が受付し「処理中」状態となったレコードも「CANCEL」することができる。	受付館がまだ受付していない「未処理」のレコードを、まず状態復帰コマンドCALLBACKで「準備中」の状態にしてからCANCELで取り消す。	一度「CANCEL」の状態になったレコードも、CALLBACKで「準備中」の状態に戻すことが出来る。		キャンセルの操作と注意点の確認問題です。
13	謝絶についての説明で【間違っているもの】はどれか。	PARDONで謝絶されたレコードは次候補館があってもなくても、「新着照会」の状態となり依頼館へ戻る。	次候補館がある場合は「未処理」の状態となり次候補館へ転送される。	次候補館がない場合は「新着照会」状態となり依頼館に戻る。		謝絶の操作の状態遷移の確認問題です。

問題番号	問題	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	解答解説
14	<p>次のチャートは、依頼内容の問い合わせを示したものである。 空欄に入る正しいコマンド名(WebUIPの場合)はどれか。</p> <p>「処理中」[受付館] ↓([]) 「新着照会」 ↓(RECEIVE) 「照会」[依頼館] ↓(ANSWER) 「回答待ち」 ↓(RECEIVE) 「処理中」[受付館] ↓(SEND) 「発送」</p>	PARDON	INQUIRE	CALLBACK		依頼内容の問い合わせに関する操作の確認問題です。
15	<p>次のチャートは、到着資料の問い合わせを示したものである。 空欄に入る正しいコマンド名(WebUIPの場合)はどれか。</p> <p>「到着処理中」[依頼館] ↓([]) 「クレーム未処理」 ↓(RECEIVE) 「処理中」[受付館] ↓(SEND) 「クレーム回答待」 ↓(RECEIVE) 「到着処理中」[依頼館]</p>	PARDON	INQUIRE	CLAIM		到着資料の問い合わせに関する操作の確認問題です。 混乱してきたら「ILLレコード状態遷移図」等をもとに全体の流れをよく理解しておきましょう。
16	<p>次のチャートは、更新請求を示したものである。 空欄に入る正しいコマンド名(WebUIPの場合)はどれか。</p> <p>「借用中」[依頼館] ↓([]) 「更新請求」 ↓(RECEIVE) 「返却処理中」[受付館] ↓(CLAIM) 「返却クレーム未処理」 ↓(RECEIVE) 「借用中」[依頼館]</p>	PARDON	CALLBACK	RENEW		更新請求および返却資料に関する問い合わせの状態遷移の確認問題です。
17	<p>グローバルILLについての説明で【間違っているもの】はどれか。</p>	日米ILLでは相手館と直接料金を決済する。	米国OCLC参加館とのグローバルILLを日米ILLという。	日韓ILLでは料金相殺サービスが利用できる。		グローバルILLの概要についての確認問題です。

問題番号	問題	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	解答解説
18	参加組織情報とILLレコード検索についての説明で【間違っているもの】はどれか。	参加組織情報は毎年1回NIIが自動的に更新してくれる。	ILL業務上、相手館のレンディングポリシーを参照することも重要である。それらは参加組織ファイルの、各参加組織レコードに記録されている。	ILLレコード検索では、最近のもの(カレントファイル)と、古いもの(バックファイル)を分けて検索する機能になっている。		参加組織情報のメンテナンスの重要性の確認と、ILLレコード検索の確認問題です。
19	ILL文献複写等相殺サービスについての説明で【間違っているもの】はどれか。	相殺サービスへの加入は、ILL参加館の任意で、加入時期は特に限定せず随時可能である。	ILL文献複写等相殺サービスでは、月次処理として毎月末に金額を固定し、四半期ごとにまとめて相殺結果を会計処理する。	月次処理では、毎月末でILLレコードの状態(STAT)が「発送」及び「返却処理中」になったものを、対象レコードとして固定する。		ILL文献複写等相殺サービスに関する確認問題です。
20	次の文章に入る言葉の正しい組み合わせはどれか。 ILLの操作が分からない場合、【(1)】図で状態と【(2)】を確認するとよい。例えばILLレコードをひとつ前の状態に復帰させる【(3)】コマンドが使えるか、といったことが矢印で示されている。	(1)変遷マップ (2)コマンド (3)CALLBACK	(1)状態遷移 (2)コマンド (3)CALLBACK	(1)状態遷移 (2)コマンド (3)SENDERBACK		状態遷移図と応用操作に関する問題です。